

八丈島文化協会 会報 第3号

八丈島文化協会事務局 Tel 2-2833

享年会長の逝去にあたって

当協会会長で文化フェスティバル実行委員長の浅沼享年氏が1月3日、逝去されました。一昨年の冬に病に倒れ東京の病院に入院された後、一時は回復し元気な姿を見せていらっしゃいましたが、昨年秋頃より容体が悪くなり町立八丈病院で療養生活を送られていました。通夜は7日、葬儀・告別式は翌8日に開善院にて執り行われ、大勢の方の参列のもと、八丈太鼓に見送られ旅立たれました。享年80歳でした。

昔の演劇、演奏会といえば体育館にゴザをひいて座布団持参、空調なし、夏は汗だく、冬はこごえながら……。バイクや飛行機が通る時は騒音が去るまで演目が止まるなどという事が日常でした。そんな環境の中、「島に文化ホールがほしいね」と仲間が集まり、享年氏を中心に「文化ホールを作る会」や文化協会の元になった「文化団体の会」が発足。他の文化ホールを下見に出かけ、多くの資料を基に町に働きかけてきました。奇しくも町役場の建替えに併設する事が決まり、同時に文化協会も設立。大きな大きな夢が予想以上のスケールで一度に完成しました。この実現を見届け、若者達がすばらしい環境で育まれることを願い他界されました。島の文化活動をやっている者、やってきた者にとってもう少しストップにいてほしい方でした。何十年も島の文化、とりわけ伝統芸能の伝承に尽力された功績、そして、島の文化振興のための多大なご尽力に感謝申し上げるとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

今後の体制につきましては規約に基づき、次回総会まで山下和彦副会長が会長代行を務めさせていただきます。享年会長の遺志を受け継ぎ、よりいっそうの八丈島の文化振興に努めていく所存であります。どうぞよろしく願い申し上げます。

八丈島文化協会事務局長 内山江差夫

平成26年度 八丈島文化協会の補助金交付申請について

各団体の要望などを基に作成した平成26年度補助金交付申請書を10月21日に八丈町へ提出、その後事業内容の説明を行いました。

主だった文化事業の内容は以下の7事業です。

八丈島HIPHOP児童館	補助金 55万円	自己経費 25万円
八丈島芸能文化祭	補助金 60万円	自己経費 50万円
八丈島文化フェスティバル	補助金 30万円	自己経費 30万円
八丈島島民大学講座事業	補助金 25万円	自己経費 12万円
八丈島おやこ劇場	補助金 45万円	自己経費 45万円
大型舞台鑑賞会	補助金 320万円	自己経費 60万円
歌謡（童謡）コンサート	補助金 60万円	自己経費 60万円

第25回八丈島文化フェスティバルが1月25日に開催されました。

待望されて落成となった八丈町多目的ホール「おじゃれ」での開催となり、21団体の参加、入場者数千百人余、となりました。

第1回八丈島芸能文化祭を開催させていただき事となりました。
 以前までは八丈島芸能文化交流会として7年間ほど皆様に親しまれて来ましたが、今年度からは新ホールでの開催、新実行委員会設立に伴い、八丈島芸能文化祭と名称を変え、新たなるスタートとなりました。第1回ということもあり、八丈島の魅力、伝統芸能、今の八丈島での 最高のものを皆様にお届けできたらと思います。
 又、八丈島には新しい多様なジャンルの文化団体の方々がイベント等で活躍されています。八丈島文化協会の主旨でもある「他の団体との交流」を実践し互いの理解・絆を深め八丈島の文化振興・発展に努めてまいりたいと願っております。
 島外からは、津軽三味線、ヒップホップダンサー、ジャズピアニストをお招きし、世代やジャンルを超えた「即興コラボ」が実現します。素晴らしい時間を皆様と共に共有できたらと思います。是非会場へお越しください。

又、様々なお手伝い頂ける方を募っています、ご協力頂ける幸いです。
 よろしくお願いたします。

八丈島文化協会理事・八丈島芸能文化祭実行委員会 実行委員長 奥山 隆



プログラム

- 13:30 オープニング・実行委員長挨拶・来賓挨拶
 13:40 八丈太鼓:六人会創立メンバー
 13:50 榎立踊り保存会
 1. 場踊り 2. 手踊り 3. ショメ節
 14:10 JAZZ:福本純也 & 佐藤光昭
 1. リブリーブルース in 大賀郷 2. A列車で行こう
 3. 上を向いて歩こう 4. いとしのエリー
 14:35 ◇ ~ 休憩 (10分) ~ ◇
 14:45 ストリートダンス: BBOY KATSU・Shun・D→CREW & Heat up
 1. D→CREW & Heat up & 太鼓 2. D→CREW
 3. BBOY KATSU & SHUN & Manaka
 4. BBOY KATSU & SHUN & 太鼓 5. DANCE & 太鼓 & ピアノ
 15:10 八丈太鼓:伝統的な打ち手
 15:25 津軽三味線 & 民謡:鳴海昭仁 & 今千里
 1. 津軽じょんがら節(唄) 2. じょんがら即興(三味線合奏)
 3. 篠笛(横笛ソロ) 4. 津軽三味線 & 太鼓
 16:00 エンディング

《八丈島芸能文化祭実行委員会》

- 《実行委員長》奥山隆 《副実行委員長》結城広枝
 《事務局長》小泉雅一
 《実行委員》浅沼優子・井上啓二郎・奥山善男・大沢幸一
 大沢康兼・金川富一・川瀬喜重子・菊池修
 《協力》
 《司会》菊池孔介
 《スタッフ》阿久津文彦・菊池一明・金川富一・峯元隆二

鳴海 昭仁(なるみ あきひと)

津軽三味線鳴海会 会主 青森県青森市油川生まれ、現在住。
 昭和47年11歳で横笛「青森ねぶた囃子」をはじめ。翌年「県下祭り囃子競技会」において特別賞受賞を機に津軽三味線と太鼓も手掛ける。昭和50年「県下祭り囃子競技会」通算10回の優勝。また、この年を皮切りに「国の重要無形文化財指定青森県登山囃子競技会 各地競演大会」において16回の優勝。「第7回日本民謡民舞大会」において津軽手踊り津軽三味線地方として大賞受賞。津軽三味線全国協議会理事として後継者育成の為の津軽三味線全国大会に尽力する。現在、8枚のアルバムもリリースの他日本郷土芸能研究会の代表、鳴海流横笛会、津軽三味線鳴海会、龍神太鼓保存会の会主、和洋構成ユニット白神の代表としても広く県外、海外と活躍中。

今 千里(こん ちさと)

青森県青森市油川生まれ、現在住。
 昭和59年7歳から宗家石川流にて津軽手踊りを始め組踊りの部門で数々の賞を受賞。平成10年第38回郷土民謡民舞全国大会「民舞の部」で内閣総理大臣賞を受賞。その後歌の世界にも挑戦。昭和59年7歳から宗家石川流にて津軽手踊りを始め組踊りの部門で数々の賞を受賞し、平成16年第7回みちのく歌謡祭グランドチャンピオンをはじめ様々な大会において多くの賞を受賞。2008年には第1回ボイスオブマグナルドの日本代表としてオリジナル曲「永遠に」で世界ファイナルに日本人初の出場を果たす。平成17年日本テレビ「歌スタ」出演の他、数々のテレビ番組に出演しアルバムもリリース。現在、津軽三味線鳴海会、龍神太鼓保存会にも所属し、津軽民謡の歌、津軽三味線、和太鼓奏者としても県外、海外と活躍中。

BBOY KATSU (本名:うらつか かつひと)

株式会社 G.E.A.R 代表取締役・Ultimate Beat Club Studio 代表
 HIP HOP 児童館 館長・東京B-BOYS (ex.ROCK STEADY CREW JAPAN) メンバー
 1987年本格的にSTREET DANCEを始めHIPHOP CULTUREと出会い多数のダンスコンテスト等で受賞する。NYに本拠地があり40年以上歴史のある世界NO.1HIPHOPオリジナルクルー (ROCK STEADY CREW) R.S.Cの日本初期のメンバーとなりSTREET DANCE、HIPHOPシーンで活躍、全国のB-BOYS & BGIRLSに大きな影響を与え続けている。また、世界大会等の審査員や昨年八丈島でもLIVEを行った小柳ゆきをはじめ松任谷由実、岡村晴幸、KREVA、童子-T、ZEEBRA、ラムスター、パブルガムブラザーズ、SMAP、V6、キマグレン等数々のアーティストのCM・LIVE振り付け、ステージ・ライブプロデュース、PV振り付け、出演、演出、バックダンサー、コンサート & イベントでの楽曲提供 & 編集を手掛けている。現在、Katsuの地元でもある品川を中心に、地域に根付いた街おこしイベントにも積極的に参加し、ダンスコンテスト等のプロデュース、八丈島でも開催されたHIPHOP児童館 (WS) などを通じ、広く青少年に対して、自分たちの将来に向かい積極的に前向きになることを促すように、活気ある青少年の育成を目的として活動している。

SHUN (本名:たにうち しゅん)

アメリカ ニューヨーク出身
 STAX GROOVE、Electro Swinger's、BLACK SSIP 5のメンバーとして、国内外で活躍。
 日本代表としてポーランド・ジャズ・フェスティバル、ジャカルタ・クロス・オーバー・ジャズ・フェスティバルに出演経験を持つ。ヨーロッパ、アジア、アメリカにてストリート・ライブを慣行したり、安室奈美恵、PUSHIM、大江千里、MAX、DA PUMP、大塚愛、原田俊彦、ピンクレディー、PUFFY、SILVA、S・E・S、佐藤あつひろ、TUBE、美川憲一、坂本冬美、氷川きよし、小柳ゆき、ラムスター、松任谷由美、SUG、青木カレン、リュ・シウォン、キマグレン、GACKT、岡村晴幸らのバックアップ・ダンサーを務める。小柳ルミ子、七条慶紀、桂由美の中国公演のヘア・ショー、adidas collectionに出演。子供チャレンジ、戦国ガールズの振り付けをして、東京モーターショー、TDLCMに出演したりと、活動は多岐にわたる。現在、TEAM GEAR、STAX GROOVE、BLACK SSIP5のメンバーとして活動中。

福本 純也(ふくもと じゅんや)

2003年洗足学園音楽大学作曲科卒業。2008年パーカー音楽大学パフォーマンス科卒業
 現在六本木ヒルズにあるイタリアンレストラン「アンディアーモ」を中心にソロピアノ演奏
 全国各地でのバンド活動を行う。2013年自身がリーダーを務めるBoylston Jazz Quartetによる最新アルバム「Family Cicus」を発表
 また、八丈島でも「八丈島JAZZフェスティバル」への参加やイベントの開催なども行っている

八丈町多目的ホール「おじゃれ」利用経費について
 新しいホールの利用料金などが広報折込、八丈町のウェブページ("八丈町""おじゃれ"で検索可)などで公開されています。
 実際のモデルケースでどの程度経費が必要なのか算定すると概ね以下のようになります。

計算モデルは

入場料1,000円で、前日は練習、翌日、リハーサルと本番の二日間使用。

※公演前日

13時～21時まで練習、ピアノは18時から使用

ワイヤレスマイクを1本用意して貰う、照明は終始舞台と客席の天井灯が点いた状態

※公演当日

午前はリハーサルと準備(9時～12時) 午後は本番(13時～17時) 夜は片付けと撤収(18時～22時)

ピアノ、ミラーボール、ピンスポット1灯、引割緞帳を使用、CDを再生する

控え室は出演者用を2室、スタッフ用を1室の計3室使用

前日分

ホール使用料は練習等の区分が適用、13時～18時まで1時間当り500円

500 x 5 = 2,500

以降1時間当り600円

600 x 4 = 2,400

ピアノは夜間帯のみの使用

1,500 x 1 = 1,500

6,400

※ 前日使用分は、6,400円必要です。

当日分

ホール使用料は、無料又は1,000円以下の区分が適用され

午前 9,000 x 1 = 9,000

午後 12,000 x 1 = 12,000

夜間 14,400 x 1 = 14,400

ピアノは午前、午後共1回1500円で

出演者用控え室2室は17時までに撤収を済ませるとして、

1,500 x 2 = 3,000

午前 450 x 3 = 1,350

午後 600 x 3 = 1,800

夜間はスタッフ用1室のみ

夜間 720 x 1 = 720

ミラーボールは午前と午後の使用

ピンスポットも同様 (ピン以外のスポットはカウントしません)

1,000 x 2 = 2,000

1,000 x 2 = 2,000

46,270

他に技術者報酬として、舞台、音響、照明の3人、1人当たり 18,000円 (単位は1日) が必要となります。
 今後ホール担当職員による操作の範囲拡大なども予想され、必要技術者の増減など詳細は申し込み時に確認が必要のため計上していませんが必要経費として用意が必要です。

※ ワイヤマイク4本が使える状態、舞台・客席の天井灯を点ける等の基本のセッティングはのみの場合は技術者の依頼は不要です。

※ 照明のミラーボールを吊る作業など舞台機構と関連が出て来る場合は照明技術者の他に舞台技術者の依頼が必要になります。

・八丈町の使用料一覧表を参照し大雑把に試算して見たものです。

使用申請、駐車スペースに関する点なども含めて詳しくは

八丈町教育課生涯学習係 電話 2-7071 へお問い合わせ下さい。

※※※ 予約は例えば4月16日の使用予定3月1日が締め切りとなりますので注意が必要です ※※※

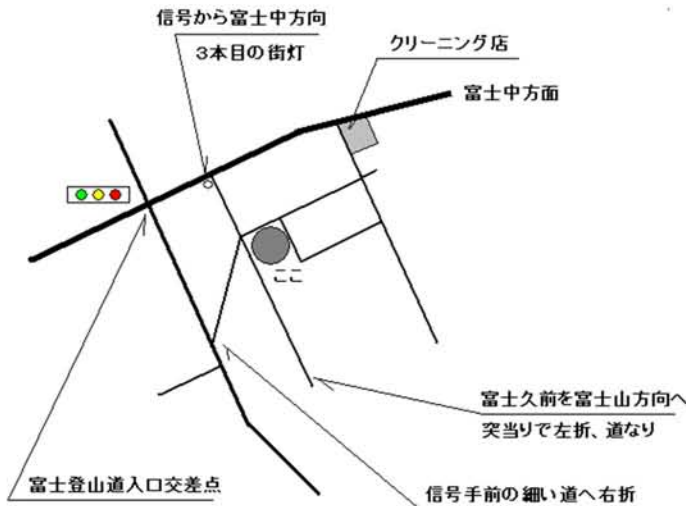
富士見地区公会堂の場所と主な道順をを地図で紹介します。

※富士見地区公会堂の利用状況がネットで閲覧可能になりました。

文化協会のツイッターで発信、協会HPのツイッターウィジェットで確認できます。どうぞご覧下さい。

※富士見地区公会堂事務所の開所は、平日9時30分～12時ですが事務局不在の場合もありますので

事前にお電話の上、ご来所いただくと助かります。不在時の連絡先 090-5817-3266（山下）



- ① 18メートル道路を富士中学校前から空港方向へ進み、クリーニング店で左折、すぐに右折して少し進んだ左側。
- ② 18メートル道路を富士登山道入口交差点から富士中学校方向へ進み、右側3本目の街灯根元で右折して少し進んだ正面。
- ③ ババイ前から富士登山道交差点方向へ進み、信号手前で右折し、細い道を右斜め前に暫く進む。
- ④ 小宮山久男商店前を町営住宅方向に進み、突き当りで左折し、住宅方向へは曲がらずに直進したら道なりに進む。

9月以降に入会された団体及び個人会員をご紹介します。

【新規入会団体会員】

コウ リマ ナニ エ
八丈島SOKA栄光バンド
八丈太鼓を楽しむ会
八丈ビューホテル

代表者名（敬称略）

栗田知美（フラダンス）
米澤純爾
宮城いづみ
宮代昌秀

【個人会員（敬称略）】

村田乃撫子（組み木絵作家）
奥山薫

お詫びと訂正

広報第2号に掲載した会員名簿に間違いがありました。八丈ウインドオーケストラの代表者名が笹本玲奈さんとなっていましたが、正しくは笹本佳奈さんです。お詫びして訂正します。

紙媒体のイベントカレンダーを企画・検討しています

文化協会運営の媒体のイベントカレンダーをもとに、紙媒体のイベントカレンダーを発行する企画が進行中です。文化協会と社協、町の3者でプロジェクトチームを作り、来年度の社協報に、島内イベントの年間予定を掲載する方向で検討しています。作成にあたり、会員のみなさまにイベントについての情報提供をお願いすることもあるかと思いますが、ご協力よろしくお願ひいたします。